

夏真っ盛りの日本へようこそ！ ～新規JET来日しました！～

業務部企画調整課

今年も、世界の様々な地域からおよそ1400人の新規ALT(外国語指導助手)、CIR(国際交流員)SEA(スポーツ国際交流員)が7月下旬から8月にかけて来日し、新たにJETの仲間になりました。



来日直後オリエンテーション

新規来日者は全員、都内で「来日直後オリエンテーション」を受講しました。オリエンテーションの内容には、ALT向けの「チームティーチングハンドブックの効果的な使い方」の分科会やCIR向けの「イベント企画・実施」の分科会という職種別の分科会が多くあり、新規来日者全員を対象にした基調講演「国際化の意味を理解する：JETプログラム参加者としての役割」もありました。基調講演では、講師を務めたクレアの元プログラム・コーディネーターSteve

by CLAIR, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, and the Ministry of Education



基調講演の様子



CIR分科会の様子

Woernerさんが、JET参加者と受け入れ団体が共通して抱えている期待

について、またJET参加者がしばしば直面する問題をどのように解決すればよいかについて語ってくれました。新規来日者はWoernerさんの助言を耳にし、JET

参加者として期待されている役割に対する緊張感が少し薄れた感じでした。

現役のJET参加者も「運営協力者」(TOA)として、「特別支援学校での活動」や「教室での問題解決」の分科会を発表するとともに、クレアスタッフと一緒に成田国際空港で新規来日者を歓迎することなどを通して、運営にとっても大



AJET分科会の様子

きく協力してくれました。また、現役の JET 参加者から結成され、全国で JET 参加者をサポートする「JET 参加者の会」も「多数校訪問 ALT のためのワークショップ」や「自己紹介をうまくこなす」など様々な分科会を発表してくれた他、新規来日者のための生活情報のインフォメーションフェアを開いてくれました。

新規来日者への期待

新規来日者は、国籍、年齢、人種、職務経験、日本語能力や日本滞在経験にとっても多様性のあるグループでした。その中には、JET プログラムに 2 回参加した者、家族を連れて来日した者、日本での留学経験をもつ者、様々な方がオリエンテーションの会場で集まりました。彼らはとても多様性のあるグループで、JET 参加者として来日した目的の 1 つである国際交流に、オリエンテーションの会場という早い段階から務めていました。それぞれの配属先である地方自治体に着いてからも、ALT や CIR としての業務とともに、人と人との草の根交流を通して日本各地の国際化へ大きく貢献してくれることでしょう。

オリエンテーションの最終日に 1400 人の新規来日者がオリエンテーションで得た新しい自信を持ち全国各地に旅立っていきました。クリアスタッフ一同、新規来日者の大きな活躍を期待しています。

最後になりましたが、TOA や AJET としての参加にご理解とご協力をいただきました任用団体の方々にお礼を申し上げます。

(プログラム・コーディネーター スコット・ボーバ)

CLAIR